



## イ 自主的な活動の支援

各主体が一体となった組織づくりや環境保全活動の支援体制を充実することにより、環境への関心を高め、自発的な活動を促します。

- 県民・民間団体・事業者で組織する「環境ふくい推進協議会<sup>\*1)</sup>」との協力と連携を強め、環境保全活動の推進、環境保全団体の育成・支援、情報の提供、各主体のネットワーク化を進めます。
- 体験を通して環境への理解と認識を深めるとともに、人びとの交流や環境教育・学習の拠点となる場の整備を検討します。
- ボランティアが主体性をもって、環境保全活動に取り組むことができるよう、さまざまな学習機会や情報の提供を進めます。
- 環境保全活動への自発的な参加による「環境にやさしい参加型社会」をめざして、環境に関する認識の増進や学習の場の整備、活動に対する支援等、自主的積極的な取組を効果的に進めるためのプログラムづくりを進めます。
- 事業者が自主的に環境マネジメント<sup>\*2)</sup>を実施することにより、生産・販売・流通の各段階において効果的な環境保全への取組が促進されるよう、その普及に努めます。

(※1) 環境ふくい推進協議会：環境保全に関する自発的な活動の推進母体として、広く県民の総意を集め、個人・団体・企業のネットワークづくりをめざして、平成6年10月に結成された。

(※2) 環境マネジメント：単に法令等の規制基準の遵守にとどまらず、企業の活動、製品またはサービスに伴う環境負荷や環境リスクを低減し、発生を予防するための行動計画を立て、継続的に改善を進める一連の企業の自主的取組。